

Crescendo

MEDIKIT ARTS CENTER くれっしえんど

音楽祭
特別号

2020.3
vol.2

第25回宮崎国際音楽祭

メディキット 県民文化センター 広報誌
MEDIKIT ARTS CENTER

25th Miyazaki International Music Festival 2020

Wed 29 April - Sun 17 May 2020
At Medikit Arts Center (Miyazaki Prefectural Arts Center)
Main Store Hall and other venues

アマンダ・フォーサイス
©Cheryl-Mazak

トリーネ・ムラ

25
年目の音楽の祭典
ここに開幕!【後編】

石田ひかり

ケヴィン・ケナー

ヨンソン

三浦文彰
©Yuji Hori

広上淳一
©Masaaki Tomitori

伊藤純

ジャン・ワン

下野竜也
©Naoya Yamaguchi

福井 敬

ピンカス・
ズーカーマン
©Cheryl-Mazak

チョン・キョンファ
©Simon Fowler

マイケル・スターン
©Todd-Rosenberg

中村恵理

25年目の音楽の祭典 ここに開幕!【後編】

前号に引き続き、音楽祭のプログラムをご案内します。会期後半は、25年続く音楽祭を祝うプログラムが目白押し!宮崎らしい、県民の皆さまと宮崎にゆかりのある出演者らと作り上げる、記念すべき音楽の祭典をご紹介します♪

5/9 (土)

開演 15:00
アイザック
スターンホール

シリーズ「ポップス・オーケストラ in みやざき」
**My Best Song ～
忘れられない曲をオーケストラで**

**あなたの思い出を彩るあの曲、その歌・・・
皆さまからのリクエストとエピソードでつづる、
忘れられないベスト・ソングの数々**

多くの方に馴染みのある、映画音楽、ミュージカル、ポピュラーミュージック等の名曲を、宮崎国際音楽祭管弦楽団の演奏でお贈りするシリーズ。県民の皆さまからお寄せいただいた「忘れられない一曲」とエピソードを、石田ひかりの朗読、下野竜也の指揮によるオーケストラ・サウンドでお届けします。



司会・朗読
石田ひかり



指揮
下野竜也
©Naoya Yamaguchi

5/10 (日)

開演 15:00
アイザック
スターンホール

演奏会〔2〕25周年記念
「アイザック・スターン メモリアル・コンサート」

音楽祭とスターンの足跡を振り返る特別な記念コンサート

四半世紀を迎える音楽祭をスターンの思い出とともに振り返ります。愛息マイケル、愛弟子ズーカマンの二人がプログラムを作成!さらに、スターンの遺志を継ぐ音楽祭の教育プログラムを経て世界に羽ばたく三浦文彰、スターンが見出したジャン・ワンらに加え、宮崎ゆかりの出演者たちが織り成す夢の共演をお楽しみください。



チェロ
アマンダ・フォーサイス
©Cheryl-Mazak



チェロ
ジャン・ワン



ヴァイオリン
三浦文彰
©Yuji Hori

5/13 (水)

開演 19:00
演劇ホール

演奏会〔3〕「レジェンドの響き」
**チョン・キョンファ
至高のアンサンブル**

現代ヴァイオリン界の女王が贈る随一の室内楽

2016年にバッハの無伴奏&パルティータの録音で鮮烈な復帰を果たしたチョン・キョンファによる垂涎の室内楽公演。共演にはチャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノ・コンクールへの同年入賞を果たしたケヴィン・ケナー、スターンの薫陶を受けるチェロのジャン・ワンらが登場します。少数の演奏家でつくり上げる室内楽だからこそ味わうことのできる、演奏家同士の魂の演奏を聴く絶好のチャンスをお聴き逃しなく!



チェロ
ヨンソン

ヴァイオリン
三浦文彰
©Yuji Hori

5/15 (金)

開演 19:00
演劇ホール

三浦文彰の挑戦
「バッハからガーシュインへ」

**若き秀英、三浦文彰が挑戦するジャズへのアプローチ
クラシックの垣根を越える新しい演奏会を試みる**

音楽祭の教育プログラム「ミュージック・アカデミー in みやざき」から巣立ち、世界的に活動する演奏家となった三浦文彰が贈る演奏会。ボビー・マクファーリン、小野リサなどクラシック外の音楽家とも共演を行う韓国の朋友、ヨンソン(チェロ)を招き、ジャズへのアプローチを試みるクラシックの垣根を越えた、一味違う演奏会をお届けします。

5/16 (土)

開演 15:00
アイザック
スターンホール

演奏会〔4〕「レジェンドの情熱空間」
チョン・キョンファとオーケストラ

キョンファ2年振りの共演は、ロマン派ヴァイオリン協奏曲の最高峰

今年が没後100年となるマックス・ブルッフのロマン派協奏曲の最高峰「ヴァイオリン協奏曲第1番」。力強く熱い芸術性、豊かな感性と完璧なテクニックを誇るキョンファを中心に、指揮の広上淳一、宮崎国際音楽祭管弦楽団との豪華共演でお贈りします。



指揮
広上淳一
©Masaaki Tomitori

5/17 (日)

開演 15:00
アイザック
スターンホール

演奏会〔5〕プッチーニの世界「誰も寝てはならぬ」再び!
プッチーニ：歌劇『トゥーランドット』

**第20回音楽祭で絶賛を博した『トゥーランドット』
25周年記念バージョンでは演出を加え、さらなる「感動」に挑む!**

第20回の音楽祭で多くの観客に感動を与え、高い評価をいただいた『トゥーランドット』。今回は、セミ・ステージ形式として、オペラの醍醐味である演出を加えてお届けします。名門ウィーン国立歌劇場管弦楽団で長年コンサートマスターを務めたライナー・キュッヒルがオーケストラを率い、国内トップクラスの歌手陣に、児童合唱も含む県内有志の合唱団も加わり贈る音楽祭のオリジナル舞台。王子カラフの愛が、美しく冷酷な姫トゥーランドットの愛を呼び起こす、感動の公演をお楽しみください。



トゥーランドット
トリーネ・ムラ(ソプラノ)



カラフ
福井敬(テノール)



リユー
中村恵理(ソプラノ)



ティムール
伊藤純(バス)

コンサート前に、情熱的な彼女の演奏をお楽しみください。



曲目：J.S. バッハ
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 二短調
BWV1004 第5曲 シャコンヌ



ヴァイオリン
チョン・キョンファ
©Simon Fowler



ピアノ
ケヴィン・ケナー



チェロ
ジャン・ワン

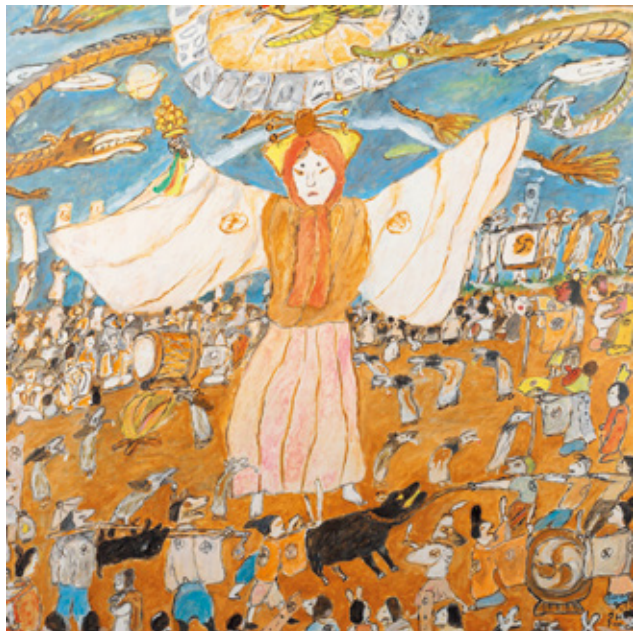


ヴァイオリン
チョン・キョンファ
©Simon Fowler

メインビジュアルのご紹介

今年の音楽祭のメインビジュアルは、御年101歳を迎える宮崎県西都市在住の画家・弥勒祐徳(みろく・すけのり)氏が90歳の時に描いた作品「山の幸」です。

今回、四半世紀を迎える第25回宮崎国際音楽祭の開催にあたり、その歴史を祝すとともに次の四半世紀に向けて、より、宮崎の地に根ざした豊饒なものとなることを記念して、メインビジュアルとさせていただきました。



山の幸(2009年/油絵)

＜作品の説明＞

「米良かぐら」をモチーフに描かれた作品。中央で一際大きく描かれるのは歌舞音曲の神、天鈿女命(アメノウズメノミコト)。右手に鈴、左手に小幣を持ち、五穀豊穰、子孫繁栄を願い舞う。天には、宇宙と太陽を表す天蓋が掛かり、自然の力を表す雌雄の龍神が泳ぐ。

人々は、猪の頭(サチミタマ)を捧げ、豊作、豊猟の奉納祈願を行う。



弥勒祐徳

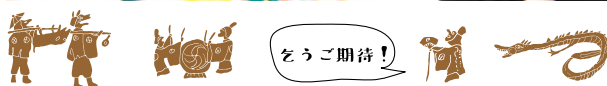
ありがとう、スターンさん！ そして皆さまへの感謝を込めて！



劇場に常設しているスターンさんの写真

宮崎国際音楽祭の礎を築いた巨匠アイザック・スターンさん。演奏会[2]では、音楽祭とスターンさんの足跡を振り返る特別な演奏会をご用意します。さらに、これまで25年の長きにわたって音楽祭を支えてくださった県内外の皆さまと、その歴史に思いを馳せながら、次の四半世紀に向けて、宮崎でしか聴くことのできないプログラムをお届けします！

音楽祭グッズ、続々誕生中！



そうご期待！

メインビジュアルをもとに、グッズ作製も大詰めを迎えています。今回は最終打ち合わせの様子です。写真は弥勒さんの絵画をグッズ化してくださるデザイナーの出水さん(真ん中)。質感や色味など、繊細な感覚で納得のいくまで突き詰めていく作業は、まさに職人技。どんなグッズが登場するか、お楽しみに！

中止の お知らせ

「第13回ミュージック・アカデミー in みやざき 2020」、「室内楽の花束」の開催につきまして、この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る政府の要請ならびに宮崎県の方針を受け、開催の中止を決定いたしました。受講・鑑賞を予定されていた皆様には、多大な御迷惑をおかけいたしましたこと、また直前のお知らせとなりましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、何卒、御理解を賜りますようお願い申し上げます。今後については、劇場ホームページ等でご案内いたします。

